

# 慣用句

□年 □組 □番

氏名

□

「慣用句」とは、昔から使われてきた言い回しで、二つ以上の言葉が組み合わさって、ひとまとまりの意味を表す言葉です。

山本さんの学級では、「慣用句」について学習しました。山本さんは、「耳」・「目」という言葉を用いた慣用句の意味と、その使い方をカードに書いています。カードの□に入る慣用句の意味としてふさわしいものを、あとの1〜4の中からそれぞれ一つ選び、その番号を書きましよう。

【山本さんが書いたカード】

## 「耳にたこができる」

◆意味：何度も同じことを聞かさ  
れ、うんざりする。

◆使い方：この話は、耳にたこが  
できるほど聞いた。

## 「耳が痛い」

◆意味：

◆使い方：この話は、ぼくに  
とって耳が痛い。

## 「目を落とす」

◆意味：下を見る。

◆使い方：足元に目を落とす。

## 「目を配る」

◆意味：

◆使い方：一人一人に目を配る。

ア：

□

- 1 相手の話を一生けんめいに聞く。
- 2 相手の声が大きくて、聞いていられない。
- 3 自分のあやまちや弱みを言われ、聞くのがつらい。
- 4 自分のあやまちや弱みの改善策<sup>かいぜんさく</sup>を言われ、ためになる。

イ：

□

- 1 物をさがす。
- 2 注意を向けてよく見る。
- 3 こっそり行動する。
- 4 人にやさしくする。

【解答】慣用句

【山本さんが書いたカード】

「耳にたこができる」

◆意味：何度も同じことを聞かさ  
れ、うんざりする。

◆使い方：この話は、耳にたこが  
できるほど聞いた。

「耳が痛い」

◆意味：

◆使い方：この話は、ぼくに  
とって耳が痛い。

「目を落とす」

◆意味：下を見る。

◆使い方：足元に目を落とす。

「目を配る」

◆意味：

◆使い方：一人一人に目を配る。

ア： 3

- 1 相手の話を一生けんめに聞く。
- 2 相手の声が大きくて、聞いていられない。
- 3 自分のあやまちや弱みを言われ、聞くのがつらい。
- 4 自分のあやまちや弱みの改善策かいぜんさくを言われ、ためになる。

イ： 2

- 1 物をさがす。
- 2 注意を向けてよく見る。
- 3 こっそり行動する。
- 4 人にやさしくする。



【耳が痛い】

・「痛い」は、「苦しく感じる」「弱点をこうげきされて手の打ちようがなく困る」という意味もあります

【目を配る】

・「配る」は、「わたす」「届けて回る」「注意を行きわたらせる」「配置する」などがあります。

慣用句は、次のような種類に分けることができます。

- ① 体の部分に関する語が入っているもの
- ② 動物名が入っているもの
- ③ 数字が入っているもの

本や文章を読んで、その中に使われている慣用句を探して、一覧表にまとめたり、国語辞典で意味を調べたりしてみましょう。調べた慣用句を、スピーチや説明的な文章を書くときなどに使えるといいですね。